

1300年前の古代山城に  
タイムスリップしよう

きく                      ち                      じょう  
**鞠智城**



●お問い合わせ



熊本県立装飾古墳館分館

**歴史公園鞠智城・温故創生館**

〒861-0425 熊本県鹿本郡菊鹿町大字米原443-1

TEL0968-48-3178 FAX0968-48-3697

# こ ろう 鼓楼から太鼓の音が響きよ



## 発掘調査最新情報

平成13年度の発掘調査で、鞠智城の重要な防衛施設である南側土塁線の構造が、一部明らかになりました。自然の丘陵を利用し、斜面を切り落としたり、版築により機能を強化するなどの工夫がなされています。



## 温故創生館

利用者の皆さんへのサービス提供の拠点として、平成14年4月オープンしました。鞠智城とその時代を展示と映像で学んでいただく他、鞠智城跡全体を眺めながら休憩できるスペースも用意しました。

開館時間／9:30～17:00  
(入館は16:30まで)

休館日／月曜日(但し、祝祭日の場合は翌日)

12月25日～1月4日

入館料／無料



# 兵舎や米倉が立ち並ぶ—古

鞠智城は、鹿本郡菊鹿池市堀切まで広がる大きな55haと外縁地区(約65ha)を調査は昭和42年から行われ、建物跡が発見されました。建物の復元を平成6年から



鞠智城(698年頃)の想像図

# そのロマンにひたる鞠智城

町米原を中心に菊  
城跡です。内城(約  
100m)からなります。調  
査結果、これまでに72棟の  
黒産材を使用して  
復元しています。



食糧を保管した

## 米倉

きれいに並んだ礎石や、炭化した米が出土したことから、米倉であったことがわかりました。三角形の校木(あぜき)を組み合わせた校倉造(あぜくらづくり)が特徴です。



防人たちが寝起きしていた

## 兵舎

東西に長い掘立柱建物で、鞠智城を守った防人が寝起きしていました。ここで生活した防人の生活様式を、温故創生館に再現しています。



戦いのための武器を保管した?

## 板倉

茅葺き屋根で掘立柱の高床式倉庫です。米倉の校倉造に対して、落としはめによる板壁を採用しています。国史に度々登場する「兵庫」(武器庫)と考えられます。

## なぜ、鞠智城はつくられたのか？



鞠智城跡は、7世紀後半(約1,300年前)に、大和朝廷が築いた山城です。当時、東アジアの政治的情勢は、非常に緊張していました。日本は、友好国であった百濟を復興するため援軍を送りましたが、663年の「白村江の戦い」で、唐と新羅の連合軍に敗北しました。このため、事態は急変し、直接日本が戦いの舞台となる危険が生じました。そこで九州には、大宰府を守るために大野城(福岡県)、基肄城(佐賀県)、金田城(長崎県)が造られました。鞠智城は、これらの城に食糧や武器、兵士などを補給する支援基地でした。

古代山城から日本初の木簡出土

## 木簡は歴史を語る・・・



木簡や建築用材が見つかった貯水池跡

貯水池跡は、長者原地区の北西部の谷部にあり、約5,300㎡の広さがあります。木簡や建築用材などの貴重な遺物が数多く発見されました。

貯水池跡から出土した木簡には「秦人忍□五斗」の文字が見えます。秦人の忍という人が米五斗(当時の1俵)を税金として納めた時の荷札です。

このことから、鞠智城は単なる軍事施設ではなく、税金などを集める行政的な機能も備えていたと思われます。



貯水池跡から出土した木簡

### 軒丸瓦

建物跡から発見された軒丸瓦(単弁八葉蓮華文)は、約1,300年前に作られた熊本県で最も古い物です。



古代をしのぶ鞠智城のシンボル  
鞠智城温故創生之碑

平成8年に鞠智城のシンボルとして建てられました。

中央に防人、前面に防人の妻と子、西側に築城の指導をしたと思われる百濟の貴族、東側に八方ヶ岳に祈りを捧げる巫女、北側には一對の鳳凰が立っています。

台座には、万葉集からの防人の歌(3首)と、城の歴史を解説した6枚のレリーフを掲げています。



記録にある鞠智城の記事

『続日本紀』	文武2年(698)	(国が)大宰府に命じて、大野・基肄・鞠智の三城を修理させた。
『文徳実録』	天安2年(858)	(2月) (6月) 菊池城院の兵庫の鼓が独りでに鳴った。 (6月) 菊池城の不動倉が、11棟焼けた。
『三代実録』	貞観17年(875)	カラスの群れが菊池郡倉舎の葺草をかみ抜いた。
	元慶3年(879)	菊池城院の兵庫の鼓が独りでに鳴った。

鞠智城・  
県立装飾古墳館へ  
行ってみよう!



この電子書籍は、鞠智城 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版は発掘調査報告等、他の書籍から引用してください。

鞠智城跡の発掘調査報告は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：鞠智城

1300年前の古代山城にタイムスリップしよう

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦2024年9月15日